

凡例

輪郭構造
 滑落崖と側方崖
 新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖
 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖
 冠頂が著しく開析された滑落崖
 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖
 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置
 共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖
 中・緩斜の流れ懸すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。
 後方崖、多重稜線等

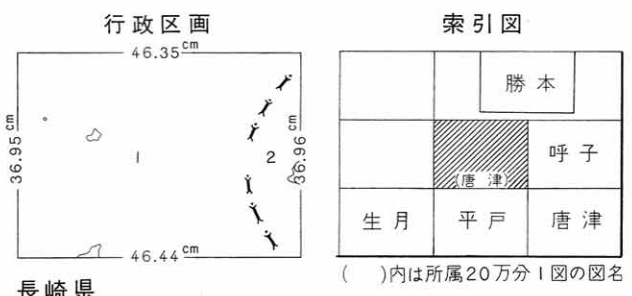
移動体の輪郭・境界
 後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明確ないし判定可能
 後方の滑落崖は明確であるが、移動体の輪郭の判定が困難
 滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
 ほかの移動体や堆積物におおわれた部分
 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
 脚部線・削り域下限

内部構造
 二次・小滑落崖、産線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
 サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭
 移動体内の小尾根
 幅の広い溝状凹地、亀裂
 幅の狭い溝状凹地、亀裂

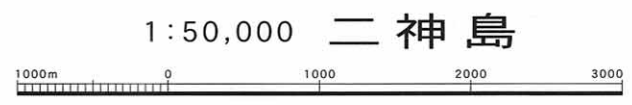
雁行亀裂
 線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向
 池
 水のない窪地
 隆起地の前線

移動方向等
 移動体の主移動方向
 すべり
 クリープ(匍行)
 流れ・押し出し
 落石など
 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他
 遷急線
 活断層(地すべりを定位置させている顕著な断層)
 地層面等および節理・断裂の走向・傾斜



長崎県
 1. 北松浦郡
 佐賀県
 2. 東松浦郡



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院 許可なく複製を禁ずる発行の政績地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平20集標、第339号)」